

第 45 回厚生科学審議会生活衛生適正化分科会

議事概要

1. 審議開始日

令和 7 年 1 月 31 日（金）

2. 議決日

令和 7 年 2 月 7 日（金）

3. 方法

持ち回り審議による

4. 議題

興行場営業、旅館業、浴場業等の振興指針改正について

5. 審議結果

興行場営業、旅館業、浴場業等の振興指針改正について、議決権を有する全委員の賛成により了承された。

6. 主な意見

- ・ 高齢者が単独で居住する世帯が増加する中、特殊詐欺被害が深刻化しており、被害防止に向けた啓発活動が重要となっている。浴場は地域の高齢者等が集う場でもあり、こうした啓発活動の場としての役割も期待される。
- ・ 近年、全国的に大規模災害が頻発するなか、事前防災力強化とともに、避難生活における災害関連死の防止が重要テーマとなっている。この間の被災者支援の経験によれば、避難生活のなかでは被災者の孤立傾向は高く、地域コミュニティの維持・再生に向けて、住民のつながりを維持する場の確保は重要な意味を有する。被災地における浴場の果たす役割の一方、浴場の多くが小規模事業主である点を勘案すれば、早期の浴場復旧のため、互助や低利融資のみならず、さらなる公的支援の拡充が考えられてよいのではないか。
- ・ プラスチック排出抑制については、事業主が今後取り組むべき重要な課題であることが伝わる内容であった。